

2022年1月25日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学
Langsmith 株式会社

**国立大学法人東北大学 ・ Langsmith 株式会社
大学の研究力強化と AI 技術の発展・利活用促進に向け
た相互協力**

-東北大学の研究教育強化と東北大学学生発の AI 技術精度向上（知の好循環）-

【概要】

国立大学法人東北大学(以下「東北大学」と)と Langsmith 株式会社^{※1}(以下「Langsmith」)は、東北大学が推進する研究力強化と Langsmith が推進する AI 技術の発展と利活用の促進に向けて、以下の点において相互に協力します。

- Langsmith が開発・運営する英語論文執筆支援システム「Langsmith Editor^{※2}」を 2022 年 1 月 24 日より東北大学の研究者・学生に対して無償提供し、東北大学での論文執筆や実践的な英語トレーニングを支援します。
- 東北大学の研究者・学生が「Langsmith Editor」を活用する際に得られた操作データを Langsmith にフィードバックし、「Langsmith Editor」による英語論文執筆支援サービスの精度向上を支援します。

【問い合わせ先】

国立大学法人東北大学
情報部オンライン業務推進課(担当:加茂)
電話:022-217-5907
E-mail: ls-soft@grp.tohoku.ac.jp

Langsmith株式会社
管理部(担当:米村)
電話:050-1752-0470
E-mail: pr@langsmith.co.jp

【詳細な説明】

東北大学は、2030 年を見据えた本学の挑戦的な展望として「東北大学ビジョン 2030」を掲げ、ビジョンの重点戦略である「卓越した学術研究を追求するための環境基盤の整備・充実」を実行するための主要施策として「多様な研究力を引き出す研究支援機能の充実・強化」を強力に推進しています。

本学研究者や学生が英語論文作成において「Langsmith Editor」を活用することにより、英文論文の質の向上と執筆作業の効率化を図り、更なる研究力強化と実践的な英語トレーニングにつながることを期待されます。

一方で、東北大学の研究者や学生が「Langsmith Editor」を活用する際に得られる文案候補の選択結果や修正などの操作データは、「Langsmith Editor」の AI による執筆支援機能の精度向上に役立てられ、サービス品質の向上が期待されます。

また、東北大学は、令和2年10月29日に東北大学「スタートアップ・ユニバーシティ宣言」を行い、スタートアップの創出と起業家人材の育成を加速しています。

Langsmith は、東北大学大学院情報科学研究科の学生による学生ベンチャーであり、東北大学としても積極的に支援するとともに、東北大学の学生ベンチャーの技術が東北大学の研究力強化に繋がるという「知の好循環」の事例として、この度の Langsmith との相互協力は、東北大学として非常に有意義な取り組みと言えます。

【用語説明】

※1 Langsmith 株式会社 (<https://corp.langsmith.co.jp/>)

Langsmith 株式会社は、世界レベルでの研究成果を数多く輩出し、日本においても自然言語処理分野の発展を牽引している国立大学法人東北大学大学院情報科学研究科 乾・鈴木研究室に在籍する伊藤拓海と栗林樹生が、マシンラーニング・ソリューションズ株式会社の 100%子会社として、2018 年 5 月に設立しました。「もっと上手い文章を書きたい！」を支援するため、自然言語処理、ディープラーニングを使った文章推敲支援人工知能システムの開発、サービスの提供を展開しています。

※2 Langsmith Editor

Langsmith 株式会社が開発し、世界向けにリリースしている自然言語処理技術を活用した英語学術論文執筆支援システムです。

Langsmith Editor では、分野によって好まれる文体や専門用語などが異なることを踏まえ、技術やアイデア、発見をわかりやすく、正確に英語で伝えるために、特定分野へ特化したエンジンを提供しており、医学・化学・生物学・心理学・計算機科学の分野で、論文に適した言い回しの提案などを受けることができます。